

和剣

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒641-0007 和歌山市小雑賀89
TEL 073-422-0308
FAX 073-427-6328

VOL. 106

2015年 12月 9日

1. 第70回わかやま国体に伴うスポーツチャンバラ大会（デモスポ）は成功でした。

第70回国民体育大会—デモンストレーションとしてのスポーツ行事—
スポーツチャンバラ競技大会

9月20日に有田川町立吉備中学校体育館で実施した標記の大会には、84名の選手が参加。関係各位が一致して、総意、総力を結集しての、規律正しく和やかで楽しい大会になりました。審判員・検査役など、競技役員等の確保については、大阪スポーツチャンバラ協会を始め、近畿地区各府県スポーツチャンバラ協会の全面的な協力を頂きました。

和歌山県協会及び近隣府県の関係者等ほかの主な御出席者は次のとおりです。

中山正隆有田川町長及び楠木茂有田川町教育委員会教育長の各位。

日本スポーツチャンバラ協会役員の中谷幸博、岩尾光平、眞保篤の各位。

柴田智弘三重県スポーツチャンバラ協会会長、

上村敏夫兵庫県スポーツチャンバラ協会会長、林光一大阪スポーツチャンバラ協会会長の各位。

長野一成（鹿児島県国体準備課）、好光慎吾、穂岡公二（愛媛県国体競技課）、

宮西博見（福井県国体推進局 競技式典課）の各位。

また、報道関係者の御来場は次のとおりでした。

あさすぼ和歌山 編集室 川畑彰宏、有田タイムス 記者 辻本亜紀

和歌山新聞（スタジオ304 カメラマン） 勝田憲央等の各位。

御協力を頂きました皆さま方に心より、厚く御礼を申し上げます。

2. 10月4日（日）：田邊哲人会長による本部講習会 大阪市中央体育館

安田孝雄会長が出席、受講しました。

3. 10月12日（祝：体育の日）：「ありがたわちョウリンピック」：有田川町立吉備中学校体育館

28名の選手が参加しました。出講：石上、福森、由良、田中、安田。

4. 11月28日（土）：トライスポーツ：有田川町立きび体育館

14名の生徒が出席しました。出講：福森、田中、由良。

5. 12月3日（木）：「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」感謝の集い

ホテルアバローム紀の国 鳳凰の間で開催の標記の集いには安田会長が出席しました。

※ 10月14日付けで高島文志緒氏より「一身上の都合により平成27年12月31日いっぱい、副会長、並びに理事を辞任したい」との文書が協会に宛て、郵送で届いていることを報告致します。

6. 当面の行事予定

① 12月19日（土）：トライスポーツ：有田川町立きび体育館

② 12月27日（日）第1回植田杯スポーツチャンバラ錬成大会：東大阪市立孔舎衛小学校体育館

☆ 御礼書簡（3通）を添付します〔別紙1～2〕☆

○有田川町教育委員会 岩崎勝富 さま（和歌山県スポーツチャンバラ協会 安田 孝雄 発）

○デモンストレーションスポーツ 主管競技団体 御中（国体推進局競技式典課長 田上卓慶 発）

○和歌山県スポーツチャンバラ協会 会長 安田 孝雄 様

（紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会 会長 仁坂吉伸 発）

2015年9月23日

岩崎勝富 さま

今回のデモンストレーションスポーツの主管にあたりましては、さまざまな御指導・御支援・御協力を頂きまして、誠に有難う御座いました。貴有田川町の主催の下で、今回のデモスポに取り組む機会を与えて頂いたことは、和歌山県スポーツチャンバラ協会にとっては幸運であったと、感謝しております。加えまして、大会の翌日になってからの「団体戦名簿」の差し替え、選手名の氏名文字の訂正等の必要にも心良く御対応を頂いておりますことについて、重ねて御礼を申しあげます。

今回頂いた御縁を、役員・会員一同の全員が大切にしながら、今後の活動に取り組んで参る所存ですので、今後とも宜しくお願いを申し上げます。来月の「ちょうリンピック」を楽しみにしております。

和歌山県スポーツチャンバラ協会会長 安田孝雄

2015年10月29日

大橋正幸

(和歌山県国体推進局 競技式典課競技運営班 主査)

紀の国わかやま国体及び紀の国わかやま大会の閉幕について（御礼）

紀の国わかやま国体

デモンストレーションスポーツ主管競技団体 御中

秋冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、9月6日から10月6日にかけて開催いたしました「紀の国わかやま国体」は、県内外から約30,000人の参加者をお迎えし、37の正式競技、1つの特別競技、4つの公開競技及び27のデモンストレーションスポーツを無事に終了することが出来ました。

大会期間中は天候にも恵まれ、多くの観戦者が応援する中、47都道府県の選手が日頃の成果を存分に発揮し、熱戦が繰り広げられました。

その結果、10月6日の総合閉会式において、男女総合成績及び女子総合成績が発表され、和歌山県が天皇杯を、東京都が皇后杯を獲得し、紀の国わかやま国体を閉幕いたしました。

また、10月24日から10月26日にかけて開催しました「紀の国わかやま大会」は、県内外から約5,500人の参加者をお迎えし、13の正式競技と2つのオープン競技を実施し、無事に終了しました。

両大会とも夢と感動にあふれ、本当に心温まる素晴らしい大会であったと参加者の方々も喜んでいただくことができました。

皆さん、本当にお疲れ様でした。

これもひとえに、会場地選定から始まり、皆様が長年にわたりご苦勞され、準備されてきた事が実った結果であると確信しています。

まだ、残務等もあるかと思いますが、出来得る限りお疲れをとり、体調を整えていただけたらと思っています。

先ずは、本書をもちまして御礼申し上げます。

これから本格的な寒さに向かう時節、風邪など召されませぬようご自愛ください。

和歌山県 国体推進局 競技式典課長 田上卓慶

拝啓 晩秋の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」及び第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」の開催にあたりましては、格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

天皇皇后両陛下をはじめ皇室の方々の御臨席を賜り、『躍動と歓喜、そして絆』のスローガンのもと開催しました両大会は、県内外から約76万人の交流を生み出し、無事、成功裏に閉幕することができました。

両大会期間中は天候にも恵まれ、多くの観戦者が応援する中、選手が日頃の成果を存分に発揮し、国内最大のスポーツの祭典にふさわしい熱戦が繰り広げられ、本県は、紀の国わかやま国体では天皇杯を獲得し、紀の国わかやま大会では127個のもののメダルを獲得することができました。

貴団体におかれましては、会場地選定に始まり、競技運営から選手の強化まで、あらゆる面で長年にわたり、御準備していただきました。こうして、両大会が無事に終了いたしましたのも、貴団体の皆様の御尽力の賜物であると心から感謝申し上げます。

今後は、両大会の開催を契機に高まった競技力とスポーツ熱を一過性に終わらせることなく、地域に根付いたスポーツの振興と県民の健康・福祉の向上につなげるとともに、深まった地域の絆やおもてなしの心を「紀の国わかやま」の輝かしい『明日へと』活かしてまいりたいと存じますので、引き続き、温かい御支援と御協力を御願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の御健勝と御多幸を心から祈念しまして、御礼とさせていただきます。

敬具

平成27年11月

和歌山県スポーツチャンバラ協会
会長 安田 孝雄 様

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会 会長
和歌山県知事 仁 坂 吉 伸